

## 滋賀県の産業振興についてのアンケート結果

県では、「滋賀県産業振興ビジョン 2030」(令和2年3月策定)に基づき、産業振興施策を進めているところです。

このたび今後の産業振興施策に活かしていくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

★調査時期: 令和3年5月

★対象者: 県政モニター298人

★回答数: 257人 (回収率86.2%)

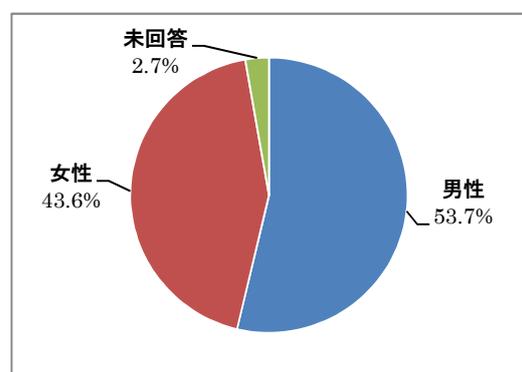
★担当課: 商工観光労働部 商工政策課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

### 【属性】

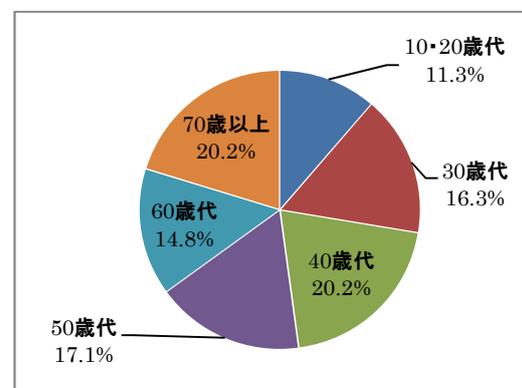
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	138	53.7%
女性	112	43.6%
未回答	7	2.7%
合計	257	100.0%



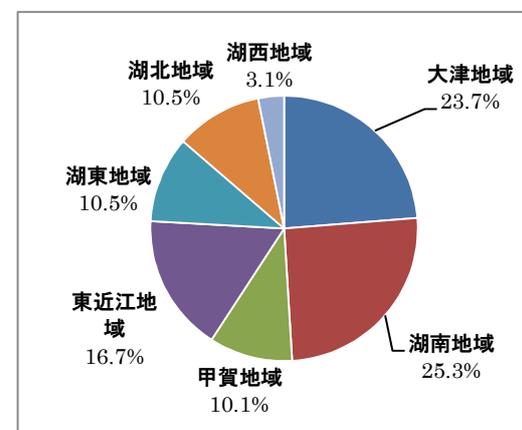
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20 歳代	29	11.3%
30 歳代	42	16.3%
40 歳代	52	20.2%
50 歳代	44	17.1%
60 歳代	38	14.8%
70 歳以上	52	20.2%
合計	257	100.0%



#### ◆地域

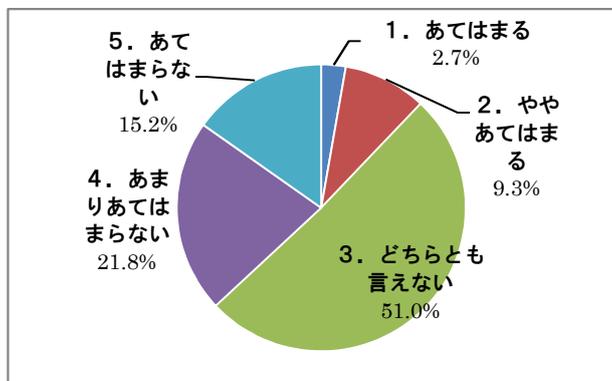
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	61	23.7%
湖南地域	65	25.3%
甲賀地域	26	10.1%
東近江地域	43	16.7%
湖東地域	27	10.5%
湖北地域	27	10.5%
湖西地域	8	3.1%
合計	257	100.0%



【問1】 あなた御自身の暮らし向きについておたずねします。  
次の(1)～(3)の項目について、あてはまるものをお選びください。

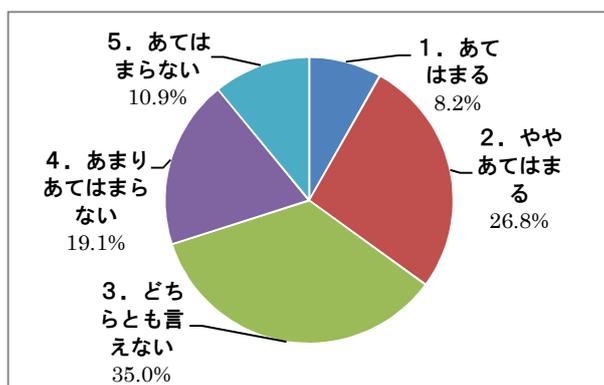
【問1】(1)1年前と比べて、自分の世帯の暮らし向きは良くなってきた。(回答チェックは1つだけ。n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	7	2.7%
2. ややあてはまる	24	9.3%
3. どちらとも言えない	131	51.0%
4. あまりあてはまらない	56	21.8%
5. あてはまらない	39	15.2%
合計	257	100.0%



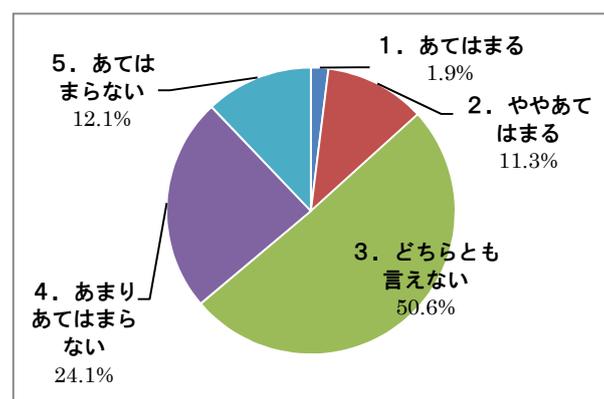
【問1】(2) 現在の自分の世帯の暮らし向きは良い。(回答チェックは1つだけ。n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	21	8.2%
2. ややあてはまる	69	26.8%
3. どちらとも言えない	90	35.0%
4. あまりあてはまらない	49	19.1%
5. あてはまらない	28	10.9%
合計	257	100.0%



【問1】(3)1年後の自分の世帯の暮らし向きは、現在に比べて良くなりそう。(回答チェックは1つだけ。n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	5	1.9%
2. ややあてはまる	29	11.3%
3. どちらとも言えない	130	50.6%
4. あまりあてはまらない	62	24.1%
5. あてはまらない	31	12.1%
合計	257	100.0%

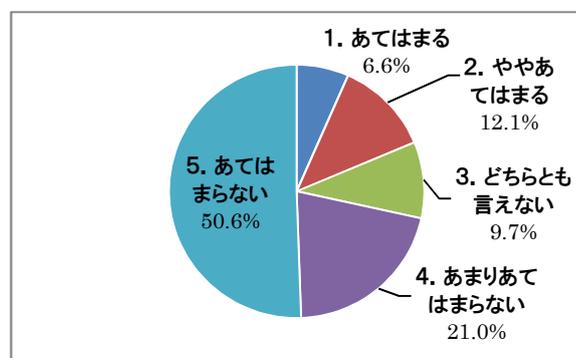


【問2】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、生活環境等の変化についておたずねします。

次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

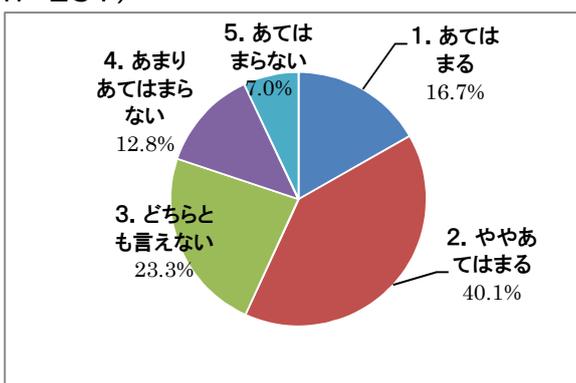
【問2】(1)食事の宅配や買い物代行などの外部サービスを利用することが多くなった。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	17	6.6%
2. ややあてはまる	31	12.1%
3. どちらとも言えない	25	9.7%
4. あまりあてはまらない	54	21.0%
5. あてはまらない	130	50.6%
合計	257	100.0%



【問2】(2)セルフレジやキャッシュレス決済などの感染症対策がされており、安心してお店を利用することができる。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	43	16.7%
2. ややあてはまる	103	40.1%
3. どちらとも言えない	60	23.3%
4. あまりあてはまらない	33	12.8%
5. あてはまらない	18	7.0%
合計	257	100.0%

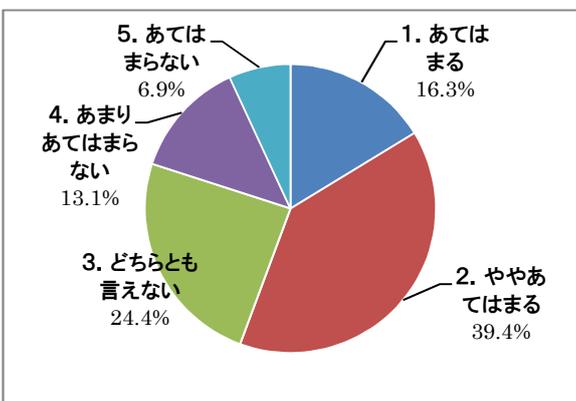


【問3】 就労されている方におたずねします。

次の(1)～(7)の項目について、あてはまるものをお選びください。

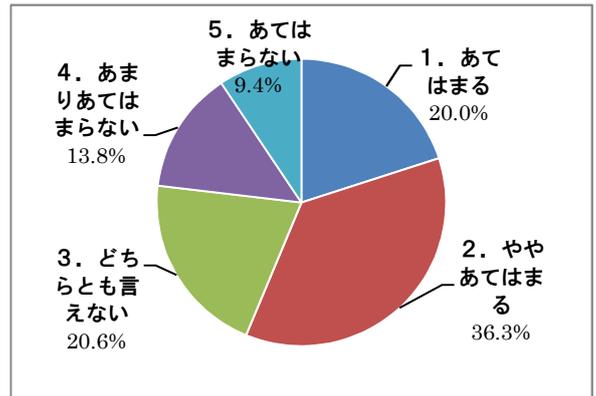
【問3】(1)自分の仕事にやりがいや充実感を感じている。(回答チェックは1つだけ。 n=160)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	26	16.3%
2. ややあてはまる	63	39.4%
3. どちらとも言えない	39	24.4%
4. あまりあてはまらない	21	13.1%
5. あてはまらない	11	6.9%
合計	160	100.0%



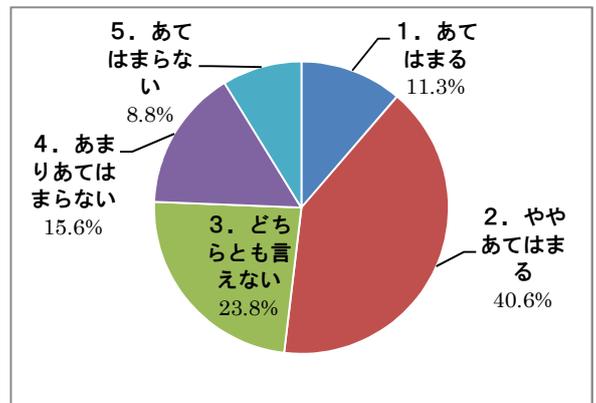
【問3】(2)仕事と生活のバランスが取れている。(回答チェックは1つだけ。n=160)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	32	20.0%
2. ややあてはまる	58	36.3%
3. どちらとも言えない	33	20.6%
4. あまりあてはまらない	22	13.8%
5. あてはまらない	15	9.4%
合計	160	100.0%



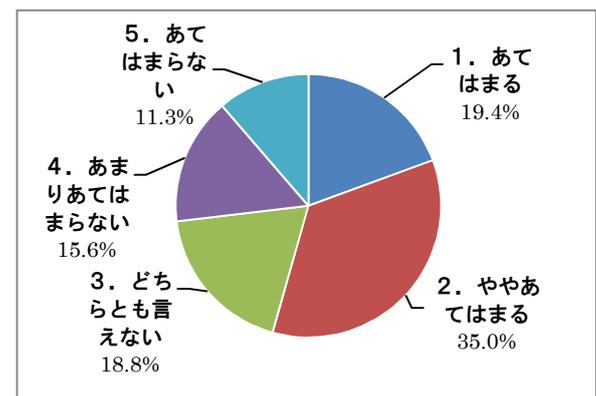
【問3】(3)仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の技術や能力などが発揮できている。(回答チェックは1つだけ。n=160)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	18	11.3%
2. ややあてはまる	65	40.6%
3. どちらとも言えない	38	23.8%
4. あまりあてはまらない	25	15.6%
5. あてはまらない	14	8.8%
合計	160	100.0%



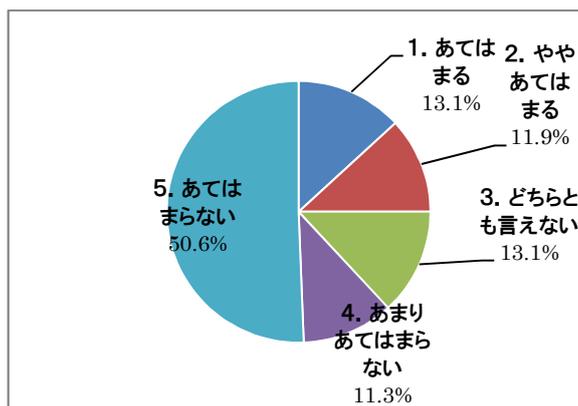
【問3】(4)仕事や就業に役立てるための学びや自己啓発を行っている。(回答チェックは1つだけ。n=160)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	31	19.4%
2. ややあてはまる	56	35.0%
3. どちらとも言えない	30	18.8%
4. あまりあてはまらない	25	15.6%
5. あてはまらない	18	11.3%
合計	160	100.0%



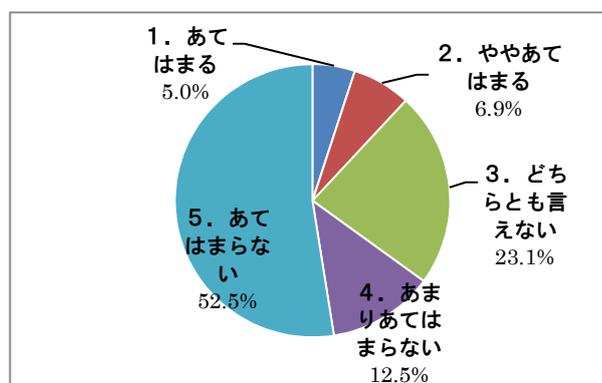
【問3】(5)新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークの導入など働き方が変化した。(回答チェックは1つだけ。n=160)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	21	13.1%
2. ややあてはまる	19	11.9%
3. どちらとも言えない	21	13.1%
4. あまりあてはまらない	18	11.3%
5. あてはまらない	81	50.6%
合計	160	100.0%



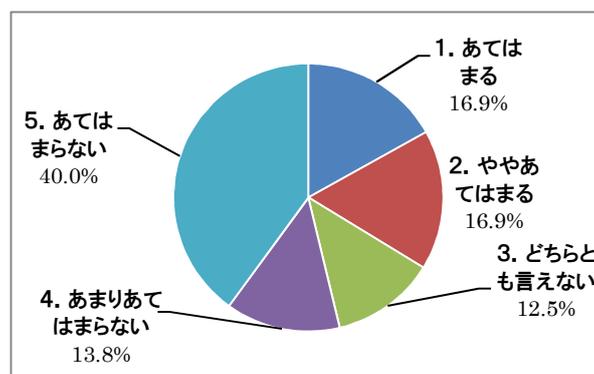
【問3】(6)副業や兼業をやりやすくなった。(回答チェックは1つだけ。n=160)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	8	5.0%
2. ややあてはまる	11	6.9%
3. どちらとも言えない	37	23.1%
4. あまりあてはまらない	20	12.5%
5. あてはまらない	84	52.5%
合計	160	100.0%



【問3】(7)業務のオンライン化やデジタル化が進んでいる。(回答チェックは1つだけ。n=160)

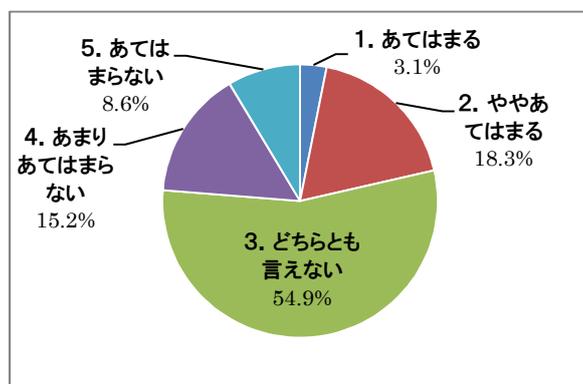
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	27	16.9%
2. ややあてはまる	27	16.9%
3. どちらとも言えない	20	12.5%
4. あまりあてはまらない	22	13.8%
5. あてはまらない	64	40.0%
合計	160	100.0%



【問4】お住まいの市・町での労働環境について、おたずねします。  
次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

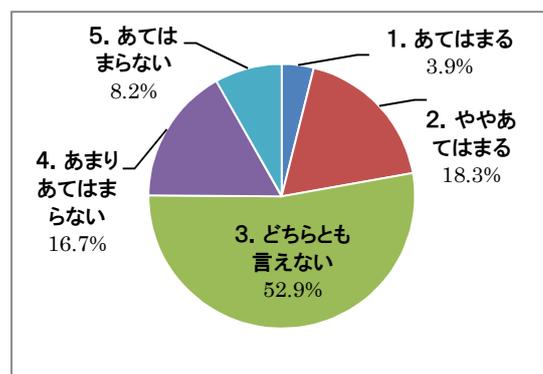
【問4】(1)お住まいの市・町では、働く意欲がある人たちの雇用が確保されている。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	8	3.1%
2. ややあてはまる	47	18.3%
3. どちらとも言えない	141	54.9%
4. あまりあてはまらない	39	15.2%
5. あてはまらない	22	8.6%
合計	257	100.0%



【問4】(2)お住まいの市・町では、年齢や性別、国籍にかかわらず、働きやすい環境が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

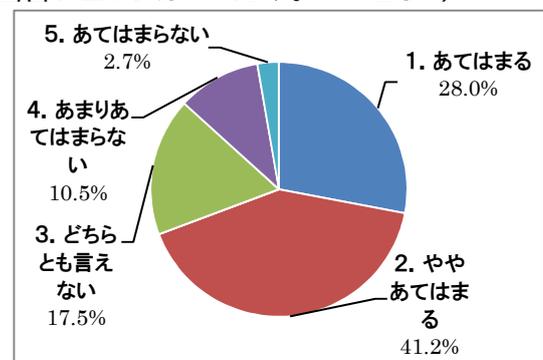
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	10	3.9%
2. ややあてはまる	47	18.3%
3. どちらとも言えない	136	52.9%
4. あまりあてはまらない	43	16.7%
5. あてはまらない	21	8.2%
合計	257	100.0%



【問5】 県内やお住まいの市・町の自然、歴史・文化、観光について、おたずねします。  
次の(1)～(5)の項目について、あてはまるものをお選びください。

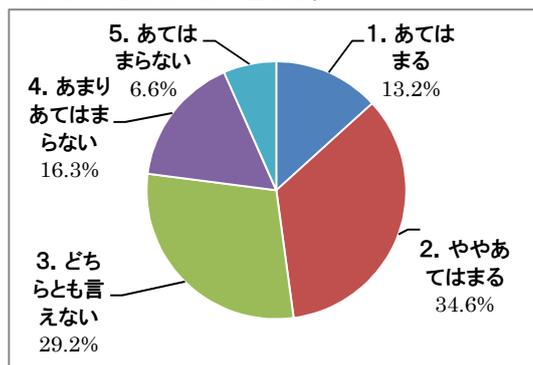
【問5】(1)お住まいの市・町に誇りや愛着を感じる。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	72	28.0%
2. ややあてはまる	106	41.2%
3. どちらとも言えない	45	17.5%
4. あまりあてはまらない	27	10.5%
5. あてはまらない	7	2.7%
合計	257	100.0%



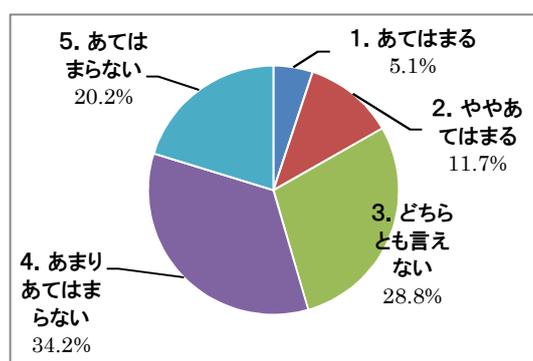
【問5】(2)お住まいの市・町では、地域の「宝」(自然資源、歴史・文化資源、伝統産業など)やスポットが産業振興に活かされている。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	34	13.2%
2. ややあてはまる	89	34.6%
3. どちらとも言えない	75	29.2%
4. あまりあてはまらない	42	16.3%
5. あてはまらない	17	6.6%
合計	257	100.0%



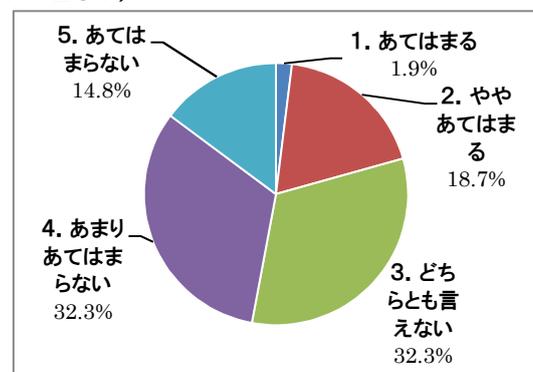
【問5】(3)お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	13	5.1%
2. ややあてはまる	30	11.7%
3. どちらとも言えない	74	28.8%
4. あまりあてはまらない	88	34.2%
5. あてはまらない	52	20.2%
合計	257	100.0%



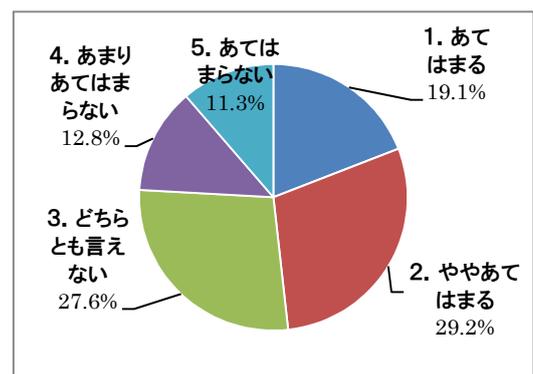
【問5】(4)お住まいの市・町では、キャッシュレス決済や多言語表示など外国人訪問客を入れる体制が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	5	1.9%
2. ややあてはまる	48	18.7%
3. どちらとも言えない	83	32.3%
4. あまりあてはまらない	83	32.3%
5. あてはまらない	38	14.8%
合計	257	100.0%



【問5】(5)お住まいの市・町には、世界に誇れる企業がある。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

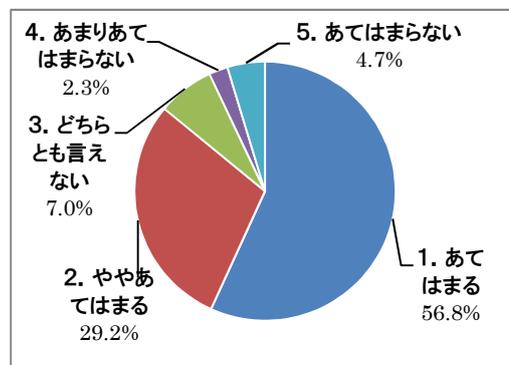
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	49	19.1%
2. ややあてはまる	75	29.2%
3. どちらとも言えない	71	27.6%
4. あまりあてはまらない	33	12.8%
5. あてはまらない	29	11.3%
合計	257	100.0%



【問6】 お住まいの市・町の生活環境について、おたずねします。  
次の(1)～(6)の項目について、あてはまるものをお選びください。

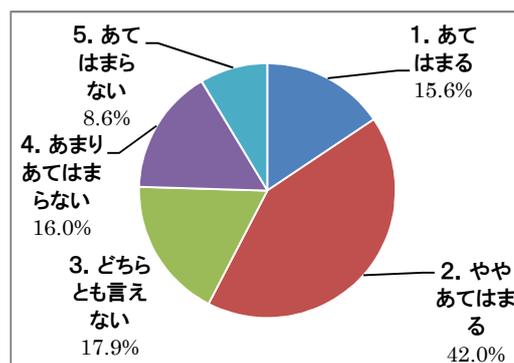
【問6】(1)食品や日用品の購入は、地元の商店街やスーパーを利用している。(回答チェックは1つだけ。n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	146	56.8%
2. ややあてはまる	75	29.2%
3. どちらとも言えない	18	7.0%
4. あまりあてはまらない	6	2.3%
5. あてはまらない	12	4.7%
合計	257	100.0%



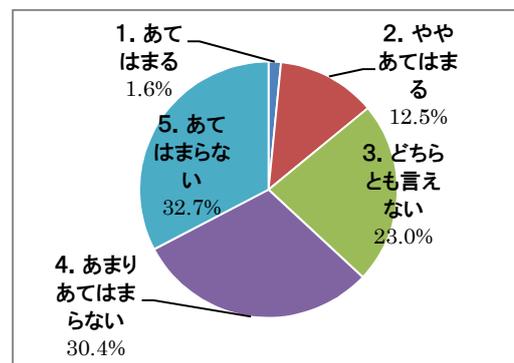
【問6】(2)お住まいの市・町や県内でとれたものを意識して買っている。(回答チェックは1つだけ。n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	40	15.6%
2. ややあてはまる	108	42.0%
3. どちらとも言えない	46	17.9%
4. あまりあてはまらない	41	16.0%
5. あてはまらない	22	8.6%
合計	257	100.0%



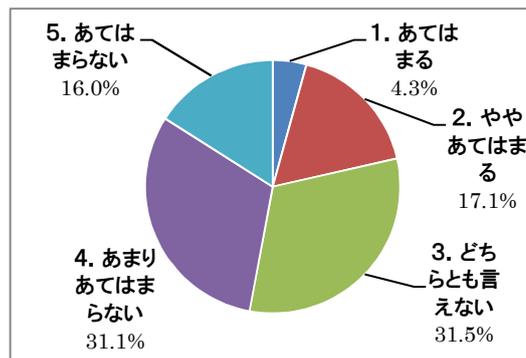
【問6】(3)お住まいの市・町の駅前や商店街には活気がある。(回答チェックは1つだけ。n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	4	1.6%
2. ややあてはまる	32	12.5%
3. どちらとも言えない	59	23.0%
4. あまりあてはまらない	78	30.4%
5. あてはまらない	84	32.7%
合計	257	100.0%



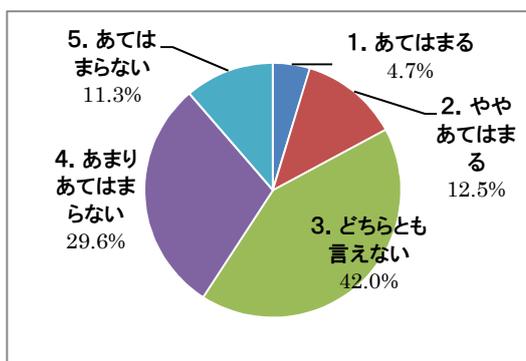
【問6】(4)お住まいの市・町には、学びや自己啓発を行うことができる場所が充実している。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	11	4.3%
2. ややあてはまる	44	17.1%
3. どちらとも言えない	81	31.5%
4. あまりあてはまらない	80	31.1%
5. あてはまらない	41	16.0%
合計	257	100.0%



【問6】(5)お住まいの市・町には、地元の産品を取り扱ったり、介護や子育てなど地域の課題を解決してくれる企業が充実している。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	12	4.7%
2. ややあてはまる	32	12.5%
3. どちらとも言えない	108	42.0%
4. あまりあてはまらない	76	29.6%
5. あてはまらない	29	11.3%
合計	257	100.0%



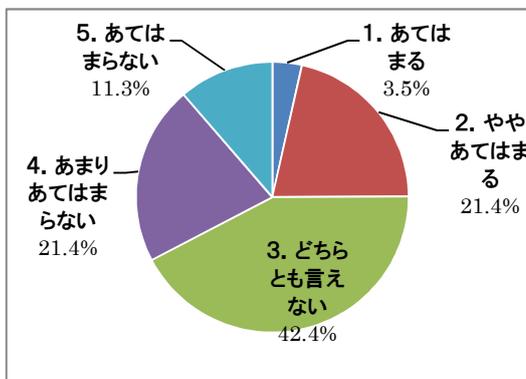
【問6】(6)お住まいの市・町では、CO2ネットゼロ(※1)やプラスチックごみ、食品ロス(※2)などの社会的課題をビジネスで解決しようと取り組んでいる企業がある。

(※1) CO2 ネットゼロ…脱炭素社会に向けて、2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロを目指し取り組むこと。実質排出量ゼロとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量と間の均衡を達成すること。【環境省 HP を参考に記載】

(※2) 食品ロス…家庭や飲食店等で、「食べられるのに廃棄される食品」のことをいい、平成29年度に我が国全体で約612万トンが廃棄されている。食品ロスの要因には、(1)「食べ残し」、(2)「過剰除去」(調理の際の野菜・果物の皮の厚剥きや肉の脂身の切り落とし等)、(3)「手つかず食品」(購入後食べないまま期限切れ等で廃棄するもの)がある。食品ロスを減らすことができれば、焼却する廃棄物が減少し、温室効果ガスの抑制にもつながる。【農林水産省 HP・環境省 HP を参考に記載】

(回答チェックは1つだけ。 n=257)

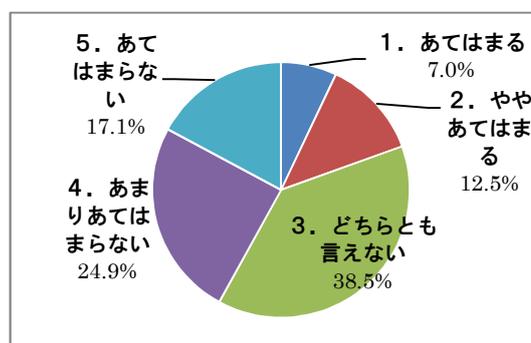
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	9	3.5%
2. ややあてはまる	55	21.4%
3. どちらとも言えない	109	42.4%
4. あまりあてはまらない	55	21.4%
5. あてはまらない	29	11.3%
合計	257	100.0%



【問7】 お住まいの市・町の、”新しいものを生み出す力”について、おたずねします。  
次の(1)～(3)の項目について、あてはまるものをお選びください。

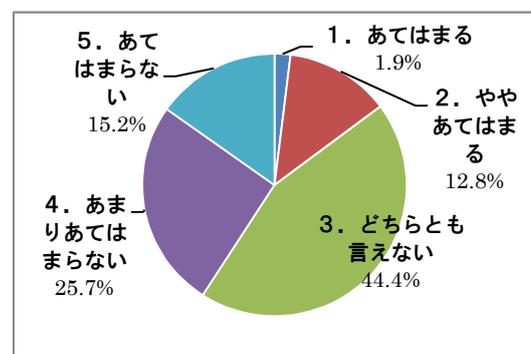
【問7】(1)あなた御自身やお勤め先には、新しい事業や新しい商品・サービスのアイデアがある。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	18	7.0%
2. ややあてはまる	32	12.5%
3. どちらとも言えない	99	38.5%
4. あまりあてはまらない	64	24.9%
5. あてはまらない	44	17.1%
合計	257	100.0%



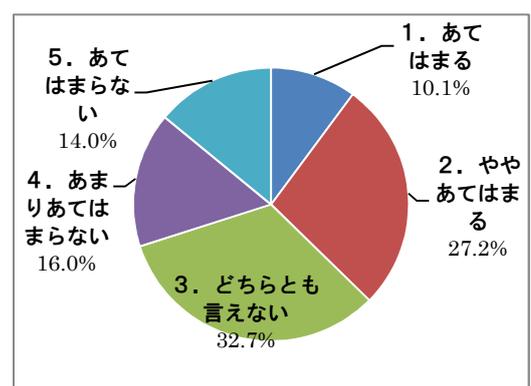
【問7】(2)お住まいの市・町では、新しい事業を始めたり、新しい商品・サービスを生みやすい環境が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	5	1.9%
2. ややあてはまる	33	12.8%
3. どちらとも言えない	114	44.4%
4. あまりあてはまらない	66	25.7%
5. あてはまらない	39	15.2%
合計	257	100.0%



【問7】(3)あなた御自身やお勤め先には、新しい技術や新しい商品・サービスを積極的に活用しようという姿勢がある。(回答チェックは1つだけ。 n=257)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	26	10.1%
2. ややあてはまる	70	27.2%
3. どちらとも言えない	84	32.7%
4. あまりあてはまらない	41	16.0%
5. あてはまらない	36	14.0%
合計	257	100.0%



【問8】産業振興施策について、御意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

・色々な方のセミナーを聞く機会を設けて観光や産業の活性化を皆が考えることに生きがいを感じられるようになればと思います。

・コロナ禍の現在は観光産業を推進することはできないし、旅行会社を助成するのも適当でない。現在県や市でも起業に向けて努力している人たちを応援しようとする施策を進めつつあるようですが、行政サイドでもベンチャーキャピタルを育成して、これからは起業家たちに資金的な援助・補助を一定程度出来るようにする必要があるのではないかなと思う。

・製造業が盛んな県なので工場も多いと思うが、単なる分工場ではなく研究や他工場のモデルとなるような母工場がより増えるように進めてほしい。また、合わせて地域企業が研究所・母工場に製品を多く供給できるよう、工場(を設置する企業)と地域企業間の連携が強化されればより活性化できると思う。その際には県だけでなく、地元企業の内容を把握している金融機関、技術と将来を担う学生とを抱える大学等を巻き込む必要があると思う。

・私の住む市町村では市民がアイデアを発表できる場所が少ないと思うため、交流館等で市民のアイデアが交流できる場があるといいなと思います。

・挑戦する人の育成

社会人だけでなく、学生の育成も大事と考える。滋賀県は日本でも希な「高専高校」のない県。琵琶湖があり、大きな企業が複数存在しながらも、その技術的な中枢に滋賀県出身の人材が少ない。それは、滋賀県に高専をはじめとした「人を育てる場」が足りていないと感じる。公立の中高一貫校も少なく、基礎学力の向上を図る場所が少ない。20～24歳の流出が懸念されているが、それこそ大学～大学院の年代であることを考えると、滋賀県に「学ぶ」場所が必要。漠然としたものではなく、人を育てるための、的を射た政策が必要だと感じる。

・リスクが低く利便性の高い立地をアピールして世界的活躍の企業を誘致できないでしょうか。衣食住がバランスよく揃ってもいるのでそのまま定住してもらえる確率も高くなるのではないかなと思います。

・もっと若者や、新しい事業を始めようとする人へ、場所や資金援助を行ってほしい。クラウドファンディングなどを活用できる支援策を提供してあげてほしい。

・歴史や文化といった観光業に関しては、どう頑張っても京都には勝てないし、勝つ必要もないと思う。やみくもに、滋賀県のイメージを向上し、観光産業に活かすと考えなくてもよいと思う。文化振興は必ずしも観光振興につながらなくてもよいと考える。それをふまえて、高所得でなくてもいいので、郷土の文化振興や環境保護に直結するような就職先があればいいなと願う。

・最近テレビ等で報道されている、ブラックバスと悪い水草を使った商品が開発されたことは、それらの今までの悪いイメージを覆して地場産業の今後の発展に大いに期待したいと思います。産学が知恵を出し合っただけでこれから大いに良いアイデアが生まれる事を期待します。

・最近、高島市では地場産業である「高島ちぢみ」を使った製品が、地元のみならず全国的な通販(ネット含む)やコープしがのチラシにも掲載され、幅広く販売されているのは、喜ばしいことです。また、地元の産物を利用して発酵食品が開発されたり、県立高校生と一緒に地元産のアドベリーを使ったお菓子を開発し販売されているのも新しい試みとして、地元産業の活性化に寄与するものと思います。県としてもこれらの動きや大学との連携なども大切にして、資金面でも応援していただけると有難いです。私自身が高齢者となって、今一番気になるのは自分で自家用車を運転できなくなった時に、どういふ手段で移動するか…です。買い物は、できるだけ生協利用やネット通販を利用するとしても病院までの移動手段は、どうなるのでしょうか。本数の少ないバスや高額なタクシーは利用しにくいです。人の移動をビジネスで支えることはできないでしょうか。

・新しい事業で地域に貢献したいという想いはあるが、市民が活動しやすい環境があまり整っていないです。文化施設等が活かせていない事や、掘り起こせば様々な活動やサービスはあるのに市民に周知できていない事が、課題だと思います。新しいものを生み出すことも大事ですが、既存のものを上手く活用し、魅力的に伝えていくことも重要だと思います。

・京都のビジネスパークのように、若者や企業が新しいものを生み出す場所となるような拠点が滋賀にもあるといい。また、他府県とも交流しながら、滋賀の魅力がさらに活かされるようなビジネスの拠点となるとよい。赤ちゃんから働く世代、高齢者など、また学校など、滋賀の企業や教育機関が交流できる場もあるとよい。

・多種多様な業種を県内各地に誘致できれば、県内定住・移住促進だけでなく、東京一極集中改善や地方分権推進にも寄与できると感じるので、議論すべき余地はある。ぜひご検討を。

・短期的には企業や団体への補助も必要だが、長期的には産業活動を支える人の育成・教育に一番税金と人材を投入すべきだと思います。お金も人材も時間も限られているので、総花的な施策では絶対成果は出ないと思います。どこに集中するのか中長期的な観点で考えて戦略を立てられるかどうか重要です。

・大津市は京都や大阪のベットタウンと化して、産業の振興が遅れている。土地は山と琵琶湖に挟まれて広い土地がないので、大規模な工場は成り立たない。となると、大きな土地を必要としない知的な産業に限られてくる。ソフト産業の誘致に努めるべきである。

・障害者ではないが就労できない人(ひきこもり、若しくはひきこもりに近い人)を受け入れる企業を受け入れる体制として、認定就労訓練所という制度がありますが、その制度を採用する企業を増やせる体制を構築してもらいたい。また、後継者がいない企業や人材不足の企業と就労に障壁がある人のマッチングする事業やシステム・構造化ができればよいと考えております。

・セルフレジやキャッシュレスでは雇用がなくなる。自動販売機なども同様で、人との間も疎遠になる。スマホやパソコンで便利になる反面、使いこなせない人、使いこなせる人と格差や差別を生じている。このような社会において、産業振興施策は、人を大事にする施策にしていきたい。

・草津宿はとても歴史的に価値がある場所だと思うのですが、観光客の数がそれに見合わず少ないように感じます。街の商店街に埋もれている感じなので、宿場らしい街並みなど再構築してみてもどうでしょう？滋賀県は歴史資料なども多く存在するが、京都奈良のような観光業として成功しているとは言い難い。それは地理的な問題で点在しているからなのか、アピールが不足しているのか、歴史資料自体が魅力的でないのかわからないが、、コロナ禍で観光のあり方も変わってくる可能性があり、観光業を県の収入源として期待することは過度な期待の可能性もあるが、企業誘致を滋賀県の産業振興施策として税収を増やしてほしい。自然が多いなかで、電車や道路なども東海道線や国道、名神などがあるため移動も便利であることからもっと大きな企業の誘致をおこない、滋賀県で働く人口を増やしてほしい。そして、産業振興を意識した子供の教育環境を作してほしい。滋賀県に残って、もしくは戻ってきて働く人材をどう増やすか考えていく必要がある。

・滋賀県は日本トップクラスの製造立県であり、多くの大企業や優秀技術企業が生産活動しています。また、県中央に位置する琵琶湖に代表されるように、自然豊かな風光明媚な土地柄でもあります。最近のコロナ禍でのリモートワークの定着により、東京一極集中の見直しも議論される中、事務所等の移転や就業者の東京周辺への移住が益々進展するものと思われます。将来の脱炭素社会の確立に向けて、今後の働き方改革において滋賀県の利点を大いに活かし、首都圏周辺から県内への移住の積極的推進を図るとともに、産官(行)学のさらなる連携により、日本をリードする産業施策の確立を期待します。

・インパクトのある商品・食品の提供や、中小企業が元気になる施策を打ち出さずは賑わいのある街を取り戻すことが大事と思う。新たな商品等の開発は、多業種協働で。人が多く繰り出す商店街が第一と思います。イベント開催、試食、アイデア活用啓発等を地域で一斉に実施する。